

節分会

豆をまく祭りとしても知られる節分は、春の始まりである2月3日に行う季節の行事です。日本の寺や家庭で人々が「鬼は外、福は内」と唱えながら、鬼を退治するため豆をまきます。

しかし、金峯山寺の節分会では、国中で追い出された全ての鬼たちを寺に迎え入れ調伏させるので、「福は内、鬼も内」に変えられています。この変わった節分の伝統は、修験道の開祖、役行者（634–701）が前鬼と後鬼という二匹の鬼を調伏したという伝承によるものです。

この法要の他の見所は、金峯山寺の蔵王堂で行われる鬼踊りがあります。鬼踊りに続いて、見応えのある護摩焚きという火を使った儀式が行われます。そして最後は豆まきです。豆まきは邪気を払い、慶事を祈る儀式です。